平成29年度

株式会社 ODEC

会社紹介

金属加工から光ファイバー関連、さらにはトレーディングまで 柔軟な発想力と想像力で、あらゆるものをカタチに満足を届ける

平成15年に設立し、金属部品を中心とした加工をメインに行っている。柔軟な発想力と想像力で、あらゆるものをカタチにし、お客様に満足いただける製品を提供。金属加工ではNC施盤やマシニングセンター（5軸加工）、ワイヤーカット等あらゆる金属加工に対応し、1個からの試作も迅速かつ丁寧に対応。光ファイバー関連製品は、高い技術力と豊富な製造ノウハウで、お客様の期待値を超える商品を提供。シール製造では、航空機や自動車、建機などさまざまな分野で使用されるゴムシールパッキンのプレス・製造、販売まで行っている。さらに常識にとらわれない発想力で、WEBマーケティングやトレーディング事業も手掛ける。

社長室長兼 WEBシステム開発　竹越　淳

補助事業

金属 3D プリンターで 金属加工の不可能を可能に

複合CNC装置の購入では、それまで自社ではできなかった5軸の連続一貫加工ができるようになり、平面研削盤の導入では、プレス成型機用の金型の内製化と金属・ゴム一体化製品の開発・製造にこぎつけた。積極的な設備投資と人材育成の結果、金属加工と仕上げ、品質管理および組み立てにおいて、対応できないものはほぼなくなったが、中空構造の金属部品の一体製造や、既存の加工法では製作不可能な複雑形状を実現できることもあり、現在世界的に注目を集める金属3Dプリンターの導入を検討。国内では200台程度で、中小企業で導入している会社は少なく、いち早く操作・活用法を習熟することで、同社全体の付加価値を飛躍的にアップさせるとともに、国際競争においても有利になると考えた。

成　果

ニーズに応えるビジネス展開も視野に 金属ノウハウの優位性を生かし顧客獲得

今回導入した機種は、3Dシステムズ社製のProXDMP200。目的は、中空構造のある金属製品を継ぎ目なしで製造すること。さらにお客様のニーズに応えるビジネス展開も視野に入れていた。要望の1つ目は、研究開発中の精密機器の製品（部品も含む）の試作。2つ目は、金型の紛失または廃棄した部品の再製作。3つ目が多品種小ロット生産。これらの要望に応えつつ、最も大きい差別化が、既存の3Dプリントの受託企業では難しい、造形物の「機械加工」工程までを自社内で一貫して実施し、顧客に対してコストや納期、品質の面でメリットを与えられること。同社は光ファイバー応用製品や光学部品など、精密な加工精度が求められる製品の金属加工のノウハウおよび加工設備を有しているため、金属3Dプリンターによる造形物を一貫して製造することができ、これにより、既存の3Dプリント受託企業に対しても大きな優位性を持つため、新規開拓の早急な顧客獲得に繋がった。

今後の展開

新しいものづくりの考え方で 宇宙関連等、世界市場へ参入

金属3Dプリンターの市場は始まったばかり。さまざまな金属加工のノウハウを持つ同社であれば、製品により性能が同じで、金属3Dプリンターで造るより数種の部品で組み立てた方が、コストが安くなるといった提案も可能。造形の依頼だけでなく、設計から企画まで、柔軟な発想力と想像力を武器に、自動車や航空機、宇宙関連といった規模も裾野も広い世界の市場に参入を試みる。

会社概要

会社名	株式会社ODEC
代表者	代表取締役　中　昌紀
所在地	和歌山県有田市野416-2
資本金	2,000万円
従業員数	40名
業種	金属粉末造形（金属3Dプリンター）設計・造形受託・販売ほか
設立年月日	平成15年7月31日
TEL	0737-82-2562
FAX	0737-82-2564
E-MAIL	odec@proof.ocn.ne.jp
URL	http://www.odec-wakayama.com